

都道府県ニュース

What's happening in your district

東京都パワー大会

写真、物江 毅

4月1日、東京都春季パワーリフティング選手権大会が駒沢屋内球技場にて開催された。100名以上の選手が集まり早朝から、夜8時過ぎまで、会場は熱気にあふれた。初参加の選手から、ベテランまで、真剣に挑む試技は迫力に満ち、クラシックの部の男子83kg級では、全日本大会並みの接戦も見られるなど、会場では、惜しめない拍手が選手に送られていた。新年度に入ってすぐの大会に、東京都協会の保坂三蔵会長も駆けつけてくださり、声援を頂いた。また、小森正昭東京都協会理事長始め、東京都、近県から応援に来てくださった審判の方々、器具の運搬に当たってくださった役員の方々の皆さんのご尽力で、成功裏に大会は終了した。選手・役員の皆様、ご苦労様でした。





大会結果は、記録欄に掲載させていただきました。
(編集部、吉田寿子)

都道府県ニュース

What's happening in your district

都道府県ニュース

What's happening in your district

東京都春季BP大会

報告・写真

東京都パワーリフティング協会

物江 毅



今年の春季BP大会は、4月15日国立第六小学校で開催された。雨予報の天候が心配されたが、未明の雨が器具のセッティングをしている9時過ぎには上がり、二週間前の春季PL大会123名に続き、85名のエントリーで盛会となった。

女子の部

エントリーが8名で春季PL大会の23名と比較するとやや寂しい数字であった。そんな中、肩の腱版断裂から復活を期す加藤幸枝選手(TXP)が57kg級Fに出場、第一試技から東京記録の87.5kg、第二試技92.5kgを順調にプレス。第三試技では97.5kgを押し切ったが、途中でバーが一旦下がり失敗、それでも復活の手応えをしっかりと掴んだ大会になった様である。同級M2Nの部に出場した植田慈美選手(スパインハウス)も、第一試技で東京都M1&2記録となる80kgに成功、ノーギア且つM2という事を考慮するとかなりのレベルの強さである。是非ともジャパンクラシックBP(以下JCBPと略す)大会へご出場され、国際大会出場の道を手を歩んでいただきたい。

63kg級Fに神奈川からオープン参加した津金典子選手は、久しぶりの公式戦、且つフルギア試技であったが、75-80-85と綺麗に三試技成功、見事に秋の全日本BP新潟大会の出場権をゲットされた。私も陪審員席から久しぶりに津金さんの試技を拝見したが、流石にK's GYM横浜に所属しておられた試技技術であると感じた。

女子の部のベストリフターは加藤幸枝選手、団体戦はスパインハウスが優勝した。

男子の部

59kg級N一般の部で優勝争いをした井野郎宏選手(個人)と小河原隆選手(チトフナPC)の勝負は見応えがあった。井野さん120-122.5、小河原さん112.5-117.5に夫々成功後、第三試技はお二人とも125,120を失敗されたが、いずれもJCBP大会出場レベルの力量と見受けられた。上記の植田選手同様是非とも頑張っていたきた





い。

66kg級N一般の部も若手の古賀翔太選手(個人)と都大会定連の石田宜央選手(パワーハウス)のガチンコ対決となり、142.5kgの同記録体重差(100g)で古賀選手の優勝となった。石田さんは三試技とも成功であったので第三試技は優勝狙いの145kgに挑むべきではなかったろうか?この階級M4Fに出場した江戸川のドン・田中勉選手(チームミラクル)は135kgに挑んだが、第一、二試技で押し切れず、それでも第三試技で渾身の力で同重量を押し切り東京新記録で優勝された。70歳を超えてもいまだに健

在である。是非とも来年東京で開催される世界BP大会へのご出場をお願いしたい。

74kg級N一般の部は、高橋卓哉選手(個人)が140kgで優勝、2位はパワーハウスの新鋭・荃田貴澄選手が135kgで2位という結果となった。荃田選手は第三試技で体重差逆転を狙い140kgに挑むも、プレス途中で止まり押し切れなかった。

74kg級M3Fは桃井雄二選手(チームミラクル)と石田耕作選手(パワーハウス)が対決。お二人とも第一試技120kgを確実に獲り、桃井さんは30kg飛ばして150kgに挑むも第二、三試



技失敗、石田さんは10kgUPの130kgに挑んだが同様の結果となり、体重差で桃井さんの勝利となった。このお二人年恰好がそっくりでまるで兄弟の様に思え、ツーショットの写真を撮らせていただいた。次回はもっとハイレベルな争いをしたいと石田さんが話しておられ、たぶん夏の世田谷大会での対決になると思われるが、74kg級全日本大会の標準獲りで私も参加を予定している。年齢・体重クラスもお二人と同じであるので、是非ともお二人と競わせていただきたいと思っている。

83kg級N一般の部は福田隆允選手(個人)が185kgで断トツ優勝、JCBP大会で表彰台に上がるレベルである。

同級M2に出場した我がTeam ponzeの牛島敏裕選手は15年ぶりの公式戦出場であったが、150-155-160と三試技とも余裕で成功、50cmの腕&BPフォームは健在であった。試合が始まる前に野田俊彦選手と二頭筋比較



都道府県ニュース

What's happening in your district

都道府県ニュース

What's happening in your district

のツーショットを撮らせていただいた。このお二人は、野田さんが競技 BP に出始めた初期の頃、それでも出る大会全部連戦連勝であったが、ウェイダーの BP 大会で牛島さんと対決し、初めての敗北を味わったといういきさつがある。競技 BP の凄さを知った野田さんはその後研鑽を重ねて世界チャンプまで上り詰めた。一方牛島さんは、野田さんの才能に驚かされ、明日の世界と獲れる選手だと評価し、その通りの結果となった。お二人の笑顔のツーショットを撮らせていただき、私にも感慨深いものがあつた。牛島さんには「来年の世界 BP 大会で頂点を獲りましょう！」と話しかけ、「是非とも世界大会に出場したいですね」というお答えをいただいた(^_^)☆

93kg級一般 F の部に久しぶりの試合復帰となった岸本洋一選手(ノーリミッツ)は三試技とも成功、第三試技は 232.5kg の東京新記録であつた。日本 BP 界の伝説 20 年語り継がれる名勝負、10 年ほど

前の全日本 BP 岡崎大会で児玉選手ら 大会結果は記録欄に掲載させていただきました。と競い、主役の一人であつた岸本さん

もカレンダーイヤー 41 歳と M1 の年齢に達した。是非とも世界大会復帰をお願いしたい。

同級 N では M2 に出場した渡部隆俊選手(個人)が一般も含めて最高の 170kg で優勝した。

重量級で目立っていたのは、一般の部 120kg 級 N に出場した日垣宏章選手(ノーリミッツ)で、一年半ぶりの公式戦出場と記憶しているが 195-202.5-207.5 の三試技とも綺麗に成功した。同級 M1N に出場した中村敏雄選手(TXP)も好調で 170kg の東京新記録で優勝した。

男子ベストリフターは岸本選手であつた。公平を期す意味で次回からはフルギアとノーギアで男女各々 1 名ずつの選出としたいと思い、時期 TPA 理事会の議案とする事にした。



■ 兵庫県大会

兵庫県

塩田 宗廣

兵庫県のベンチとパワー大会が開催されました。記録は記録欄をご覧ください。

兵庫県ベンチ大会特別賞

最優秀選手賞

小原 一将 マッスルプロダクション

優秀選手賞

藤原のどか 明石ベンチプレス同好会

優秀選手賞

秋庭 和幸 川西バーベル協会

優秀選手賞

深川 正 マッスルプロダクション

最優秀新人賞

古布 鉦太郎 マッスルプロダクション

優秀新人賞

福居 颯太 パワーハウス赤穂

優秀新人賞

安井 尚郎 明石ベンチプレス同好会

敢闘賞

三宅 範彦 グッドコンディション

敢闘賞

大上 哲司 マッスルプロダクション

敢闘賞

三木 公子 パワーハウス赤穂

団体戦

優勝 マッスルプロダクション

2位 フジモトジム

3位 チーム鉄腕

兵庫県パワー大会特別賞

最優秀選手賞

高山 栄規 マッスルプロダクション

優秀選手賞

田中 まり子 兵庫P L個人選手会

優秀選手賞

霜浦 宣也 雷神ファクトリー

優秀選手賞

高橋 和行 個人

最優秀新人賞

藤井 優弥 パワーハウス赤穂

優秀新人賞

森宗 雅也 三菱重工高砂製作所

優秀新人賞

三木 公子 パワーハウス赤穂

敢闘賞

泉 拓也 フジモトジム

敢闘賞

菅田 勇作 雷神ファクトリー

県外特別賞

垂水 淳 個人

団体戦

優勝（同点） マッスルプロダクション

優勝（同点） マッスルプロダクション 神戸板宿

3位 パワーハウス赤穂

都道府県ニュース

What's happening in your district